

2022年3月1日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-705-6018  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.143

# 2月予算議会 時間短縮で開催 コロナ禍の弱者対策、教育行政を質問

2月予算議会は、2月17日～3月4日まで開かれました。コロナ感染拡大のもと、代表質問の時間を延長して一般質問形式も組み込んだ質問となりました。また、3月に市長選があり、次期市長が決まった後の肉付け予算を残して、最低限必要な予算を組む資格予算が決まりました。私は一般質問で、コロナ禍の弱者対策、小中一貫教育、学習交流施設「市本(いちぼん)」について質問しました。

## ★コロナ禍の弱者対策―大学生などへの支援―

清水 大学生や専門学生など狭間世代への支援を本市は、どのように考えているのか。

答弁 職業、年齢を問わず「生活サポートセンター」そらが相談窓口になり、支援をしている。清水 学生には、その制度など情報が発信されていない。包括協定を結んでいる大学等に周知するなどしてほしい。

答弁 協定を結んでいる大学2校、短大2校に依頼して、チラシを置くなど周知する。清水 大学生など狭間世代を支援する担当部署がない。企画部で狭間世代の担当部署を作る方向を検討してほしい。



## ★小中一貫型・義務教育―通称・東国分爽風学園の取り組み―

清水 昨年4月から、東国分中、曾谷小、稲越小の3校を「通称・爽風学園」としてスタートした。この間の取り組みと児童、保護者の感想など伺う。

答弁 併設型の小・中学校として、教育ビジョンを示したランドデザインで設定した。新しい教科の検討や小6年生を対象とした算数の「乗り入れ授業」、3校を「オ

ンライン」で繋いだ合同集会を行った。

「乗り入れ授業」を体験した児童からは、「分かりやすかった」。保護者からは「一貫教育を進めてもらいたい」「まだ効果がみえない」などの感想が寄せられている。今後、さらなる充実が求められる。

清水 東国分中には、この2校だけでなく、国分小や中国分小からも進学する。どのような配慮をしているのか。

答弁 「プロジェクト会議だより」を隣接校に配布している。

## ★学習交流施設「市本(いちぼん)」

清水 昨年11月に市川駅北口にオープンした。「市本(いちぼん)」。

毎月テーマを決めて、本の紹介している。新年度予算は3千万円。委託費の積算を伺う。

答弁 施設運営費に1820万円、企画・政策部で1130万円。民間事業者の知見を必要とし、利用者同士の交流を促進するために「企画・制作業務」は重要なもの。会議には、教育委員会の職員も参加している。

清水 施設のコンセプトに「学びと交流を育む居心地良い空間」とあるが、窓際のカウンター席は8席。本当に狭い空間で、10人でいっぱい。ここで「イベントの開催」ということだが、どんな内容を考えているのか。

答弁 毎月テーマに関するゲストを招く。もう1つは、市川にゆかりのある方をゲストに迎えて、ライブ配信をする。

清水 目立たない場所にあり、行徳などでは知らない人が多いと思う。毎年3千万円かける価値があるのか、甚だ疑問だ。



市川駅北口にある「いちぼん」

# 緑風会・鈴木雅斗議員が暴言 共産党・清水、無所属の会・増田、越川各議員に対して

懲罰委員会で「出席停止」の処分

私・清水と、無所属の会・増田代表、越川議員の3人が「処分要求書」を提出。懲罰委員会が設置され、2月18日に委員会を開き、処分が決まりました。鈴木議員は2度目の懲罰委員会というところで、一人に付き4日間「出席停止」処分です。21日に本会議を開き、多数で可決されました。

鈴木議員は、私・清水が令和3年12月8日の会議において、議事進行に関する発言を取り下げたことに對し、「議事進行に関する発言の取り下げ自体が、常軌を逸しており、(中略)無責任、卑劣極まりない、議會を愚弄するかのとき行為は、暴行といっても過言ではないことを指摘せざるを得ない」などと侮辱する発言をしました。

確かに議事進行に関する発言を取り下げたことは事実ですが、これは議長に申し出て、議長がこれを許可したものです。その議長の議事進行に対して、異議を唱えた議員はひとりもいませんでした。それにもかかわらず、「常軌を逸しており」「無責任」「卑劣極まりない」「議會を愚弄するかのとき行為」など一方向的に侮辱する発言こそ、私だけでなく、議長も本市議会までも侮辱する発言といえるものです。

さらに、当該議員から「誘導尋問を行うかのような」「(他の議員を)陥れるかのような発言」があったとの発言もありましたが、そのような発言は一切、ありません。これも、侮辱する発言と言わざるを得ません。

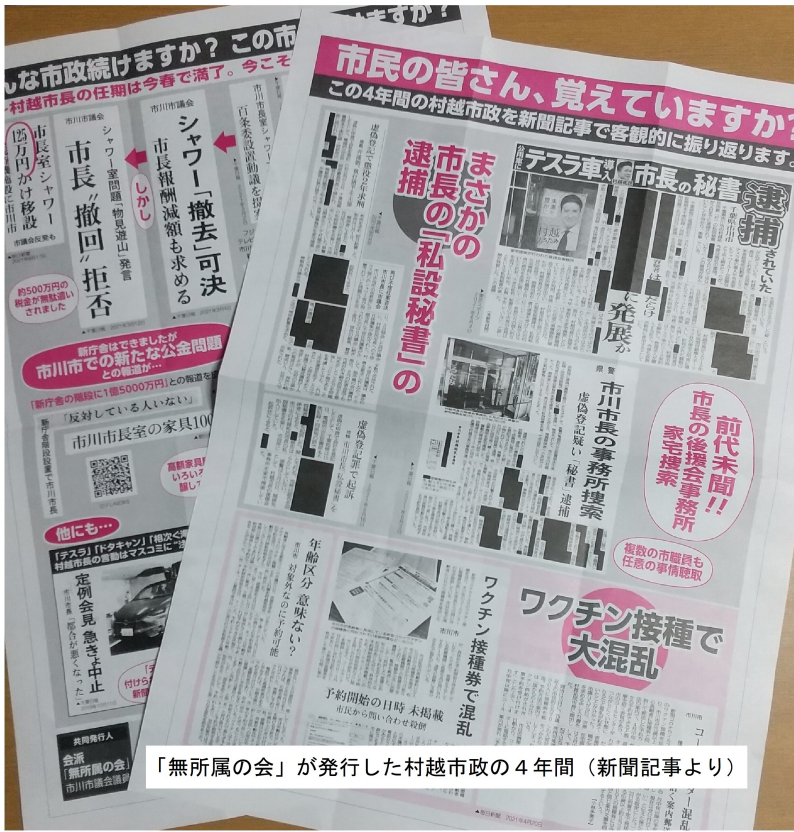
# 3月20日告示・27日投票 市川市長選挙です

## 村越市政の継続許しません

早いもので、4年間が過ぎました。共産党は、4年前に、村越氏を応援しました。しかし、余りにも、市民と議會を無視した市政に怒り心頭です。村越氏と協定も結びまし

立場で取り組みます。この間の村越市政を振り返ってみましょう。一番記憶に新しいのは、「市長室」に専用のシャワー室、設置」ではないでしょうか。ちょうど、大阪・池田市の市長が市長室に私物を持ち込み、サウナまで持ち込んでいたというところで有名になりました。「市長室のシャワー」は私物ではありませんが、「私が使ったあとに、女性職員が使う」という発言で、また、様々なワイドショーで取り上げられて「市川市は恥ずかしい街」として、有名になってしまいました。市議会にも市民にも、全く説明がない中、全会一致で、シャワー室の撤去が決議されたにもかかわらず、「市長は撤去しない」と議會でも答弁して

就任2年目に、テスラ社高級外国車を公用車として購入したことから、マスコミに注目され、「テスラ市長」というネーミングまでつけられました。これも、議會には説明のないままでした。市民からの苦情も2千件を超えていました。にもかかわらず、反省していません。その後、新庁舎内の階段設置に1億5千万円。相次ぐ海外出張。市長室の家具に1千万円。市長を追及した議員を名指してパワハラ主張などたくさんあります。



「無所属の会」が発行した村越市政の4年間（新聞記事より）

「無所属の会」が発行した村越市政の4年間（新聞記事より）

## 無料法律相談

◎3月8日(火)  
担当 岩橋進吾弁護士  
◎4月12日(火)  
担当 井出達希弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで